

2017 年度

大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び
人間科学部卒業生の生活と意識に関する調査結果

2018 年 3 月 22 日 実施

回収数 178 (卒業・修了者計 275 名)

(アンケート用紙は末尾に添付)

大阪大学大学院人間科学研究科 評価委員会

このアンケート調査は、本学部卒業生および本研究科修了生の在学中の生活と意識を明らかにするために行われた。アンケート用紙は平成 29 年度卒業式当日(2018 年 3 月 22 日)、人間科学部本館 51 教室で開催された学位授与式において式の出席者に配布され、室内で記入、退室時に回収された。

アンケートは学生自身、学生生活のこと、大学教育や学生支援、本学部・研究科に関する事項等、23 の質問項目から構成されている。

以下、アンケートの設問順に各問の集計結果を図表で示す。

問 1. 性別

表 1 回答者の性別

	人数	%
1. 女性	102	57.3
2. 男性	74	41.6
計	178	

問 2. 卒業、修了の内訳

表 2 回答者の卒業・修了内訳

	人数	%
1. 人間科学部	111	62.4
2. 大学院人間科学研究科 博士前期課程	53	29.8
3. 大学院人間科学研究科 博士後期課程	12	6.7
無記入	2	1.1
計	178	

問3. 所属学科目／学系

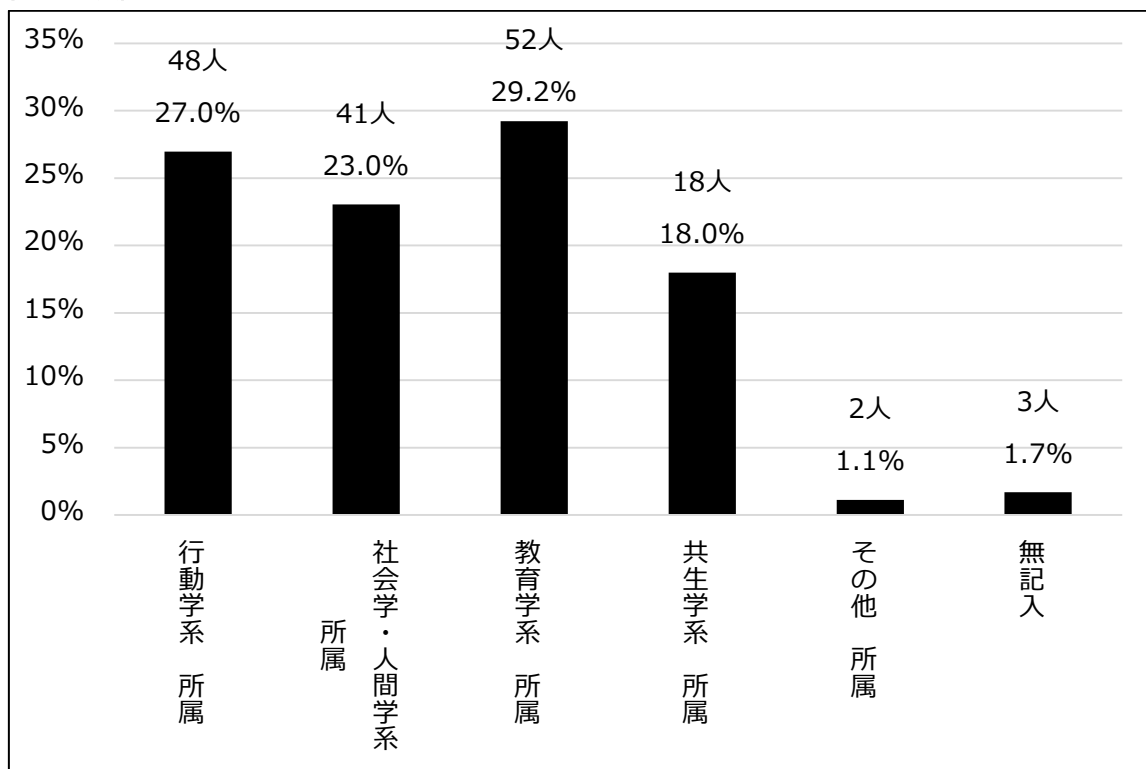


図1 所属各科目／学系の内訳

問4. 卒業・修了後の進路

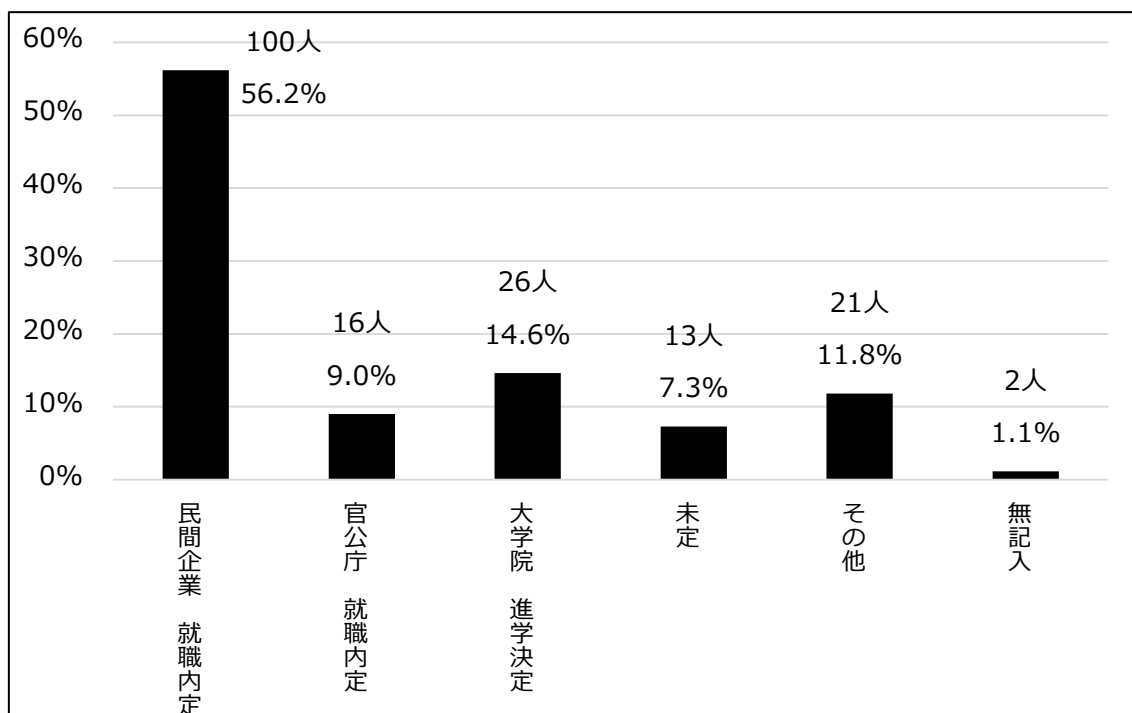


図2 卒業・修了後の進路

【具体的な進路】

- 自営（起業）予定
- 国家資格取得のため通信教育
- 社会人学生だったため新規内定ではありません
- 大学院研究生
- 社会人のためそのまま勤務します
- 大学教員
- 特許事務所
- 帰国就職
- 私学教員
- NPO法人
- 研究者
- ポスドク
- 招へい研究員
- 公務員のための勉強
- 企業勤務中

学生生活または院生生活について

問 5. 学科目を決める時の情報について（学部卒業生のみ）

表 3 学科目の情報について

	人数	%
1. 十分与えられた	42	37.8
2. まあ与えられた	61	55.0
3. あまり与えられなかった	8	7.2
4. 全然与えられなかった	0	0.0
計	111	

問 6. 学科目の選択理由（学部卒業生のみ／複数回答可）

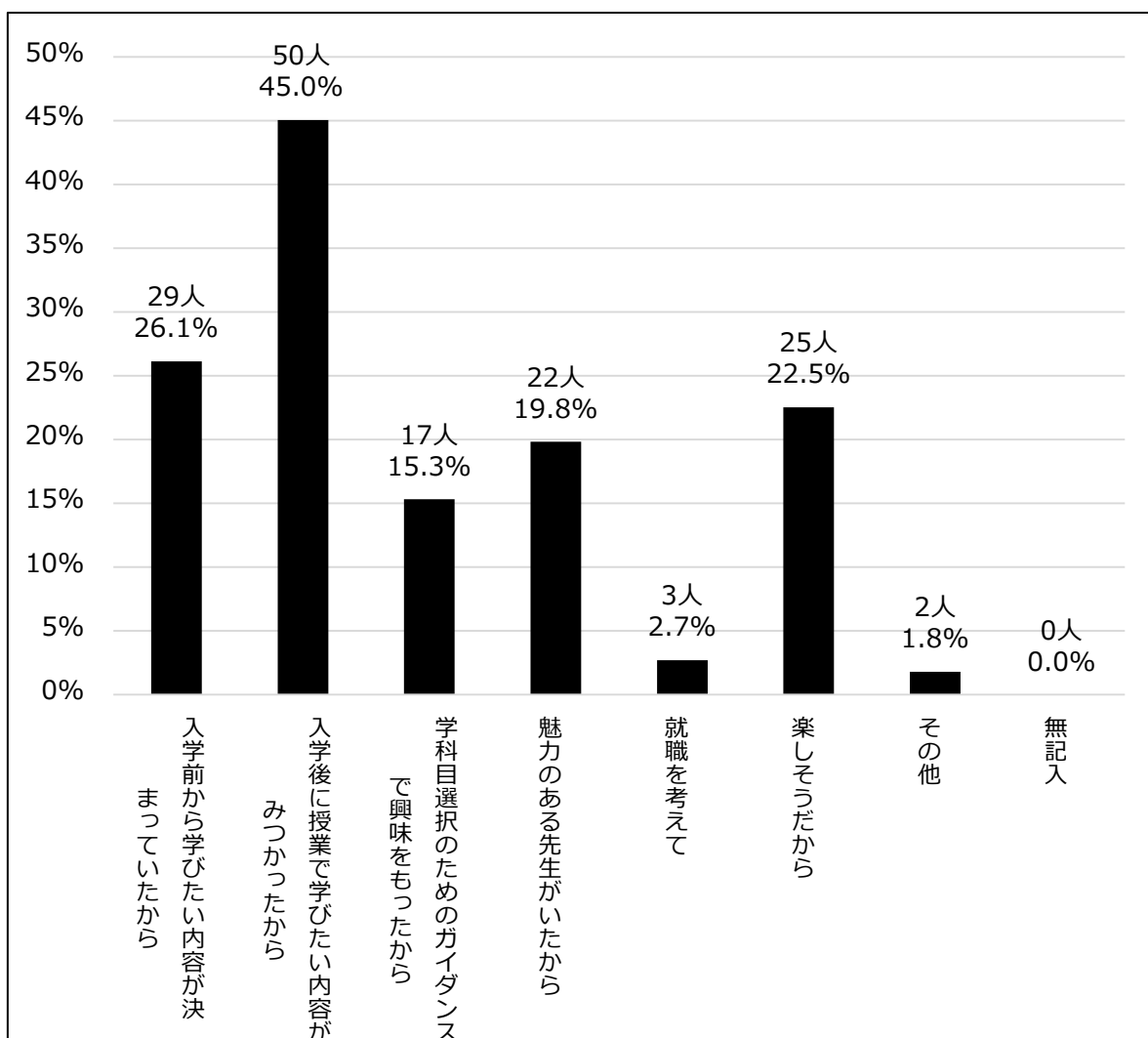


図 3 学科目の選択理由について

問7. 学生（院生）生活で力を注いだ活動事項について

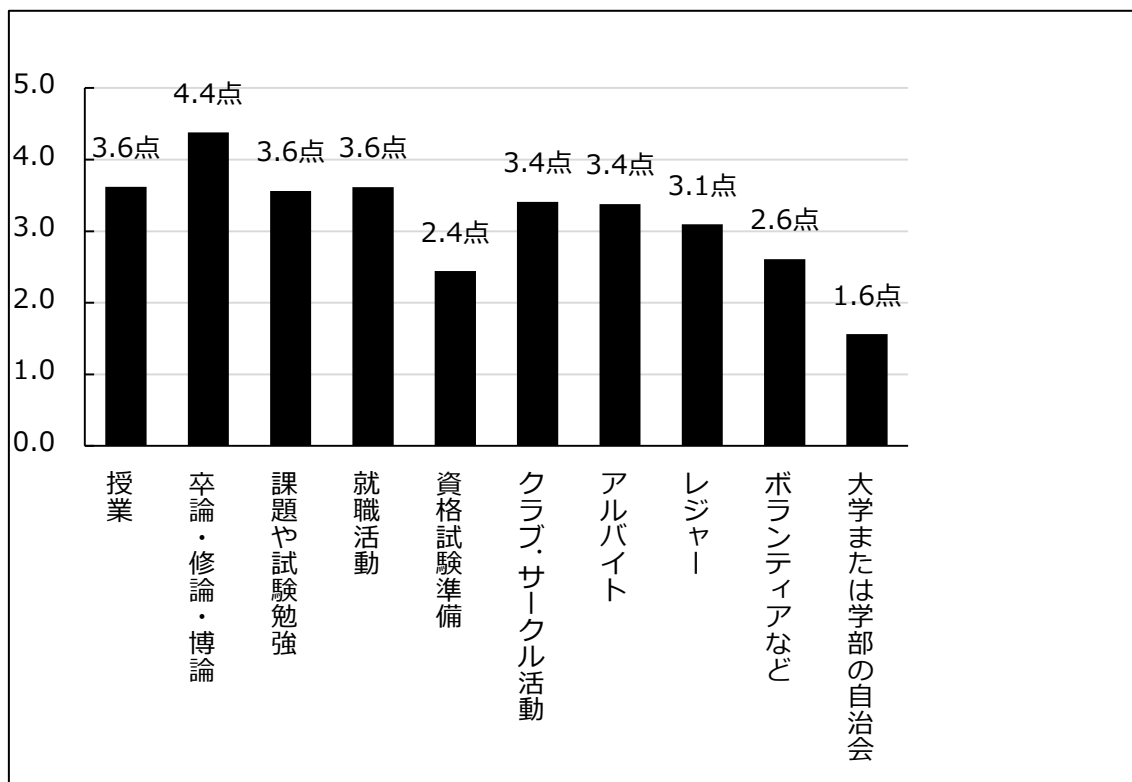


図4 学生（院生）時代に力を注いだ活動事項

図4は学生／院生生活における10の活動事項に関して、それぞれどの程度力を注いだかについて評定を求めた結果の平均値である。「非常に力を注いだ」を5点、「まあ力を注いだ」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり力を注がなかった」を2点、「力を注がなかった」を1点とした。平均値が高いほどその活動に対し力を注いだと評定されたことを意味している。

全学共通教育（豊中キャンパス）のカリキュラムについて

問 8. 「専門基礎教育科目（統計学 A-I、数学 A・B）」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

問 8 は編入生を除く学部卒業生のみが回答。該当者は 111 名。

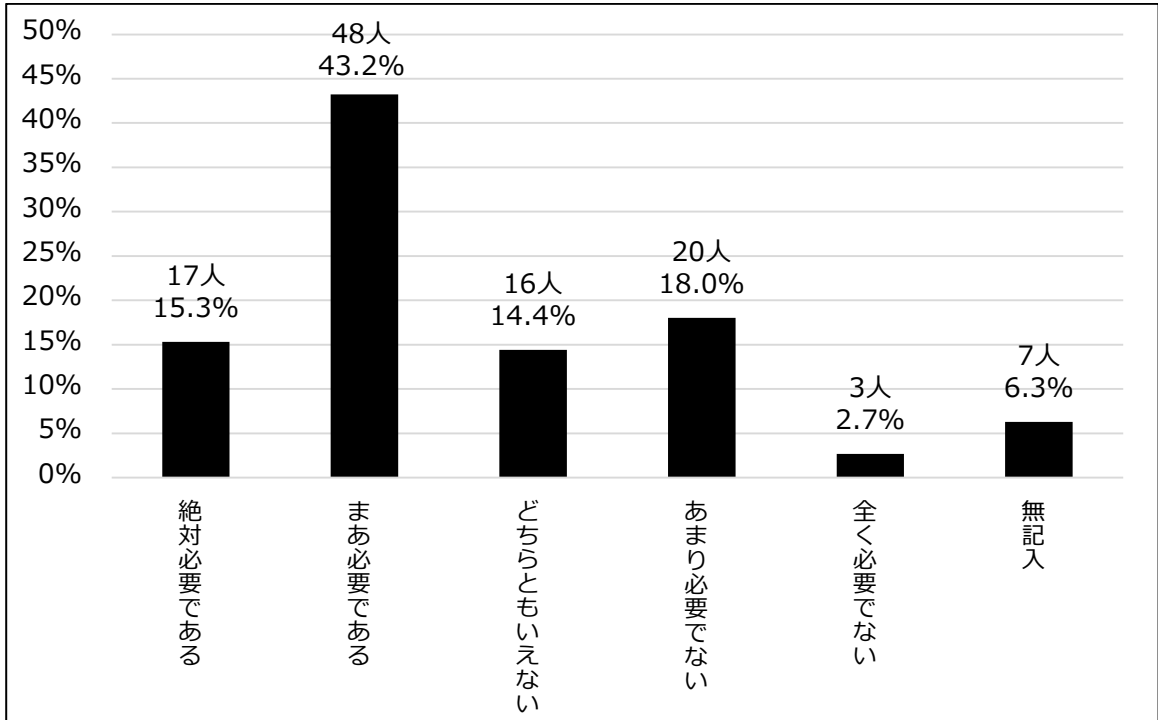


図 5 「専門基礎教育科目」の必要性について

専門課程（吹田キャンパス）のカリキュラムについて

問 9. 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについて

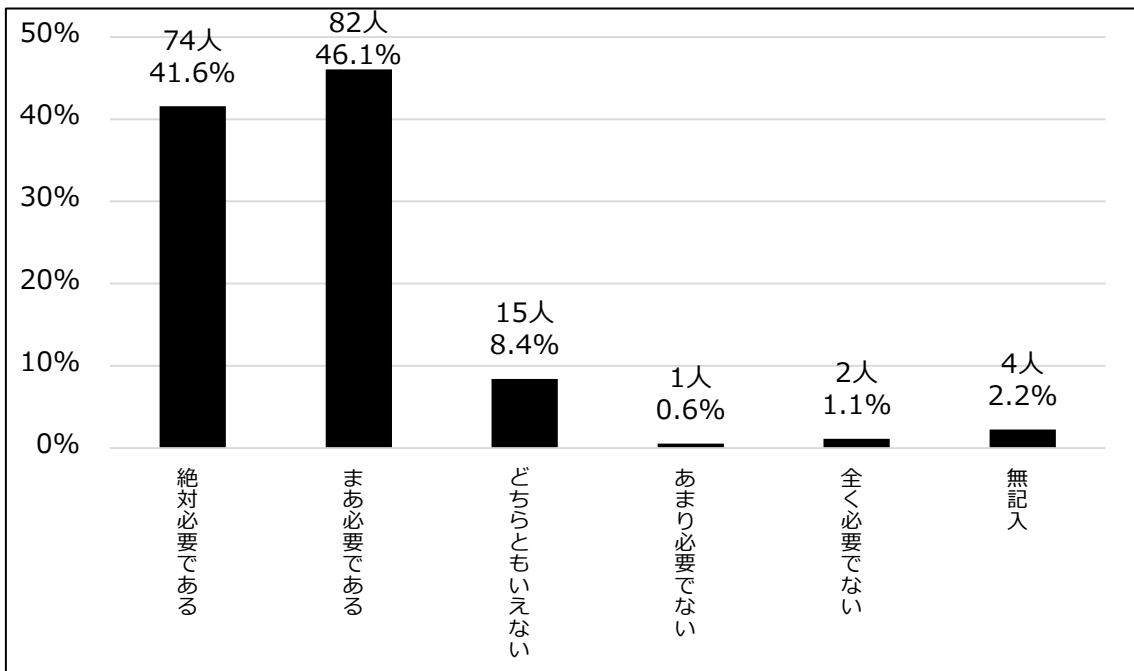


図 6 卒業論文または修士論文について

問 10. 本学部または本研究科で身に付いたこと（複数回答可）

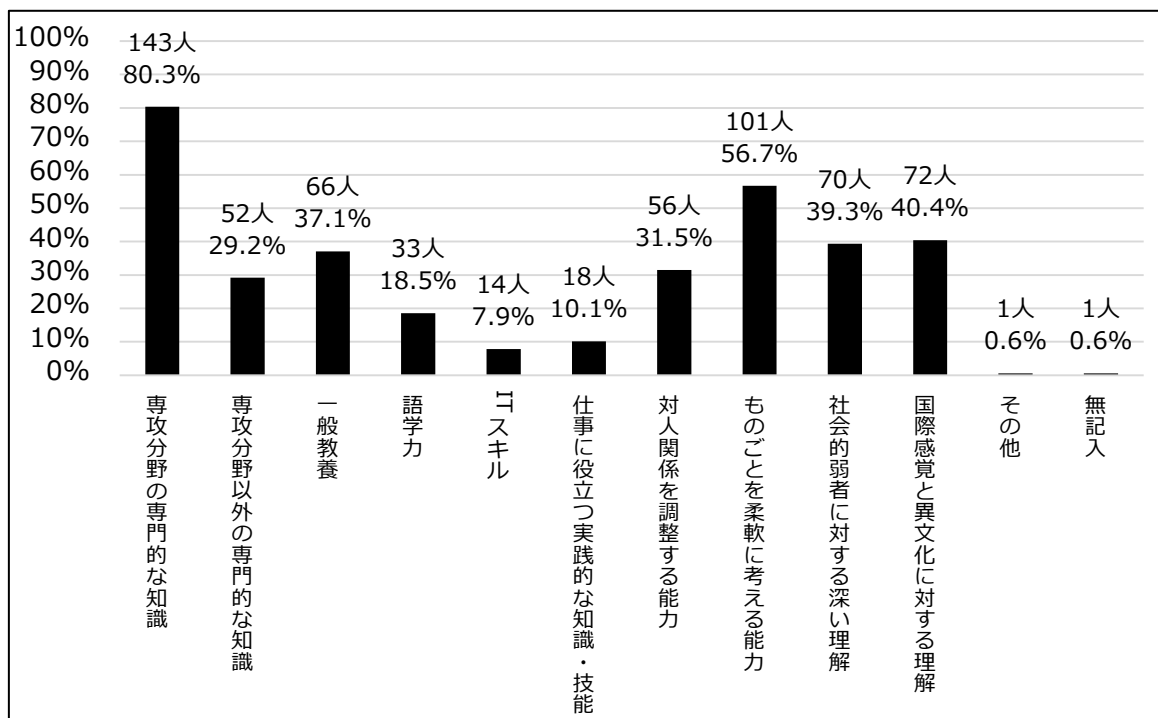


図 7 身に付いたことについて

問 11. 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うこと（複数回答可）

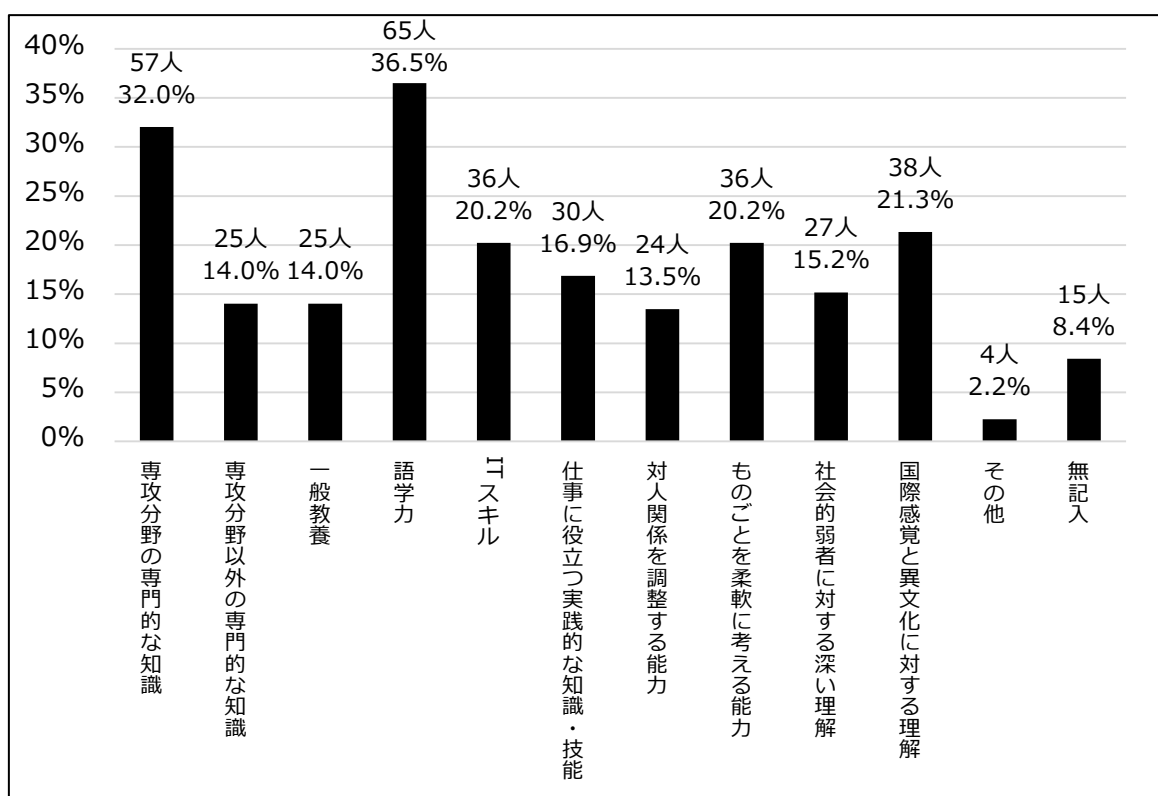


図 8 もっと身に付けられると良いことについて

インターンシップについて

問 12 . 在学中、インターンシップに参加した状況

表 4 インターンシップ参加状況

	人数	%
1. 参加した	91	51.1
2. 参加しなかった	84	47.2
無記入	3	1.7
計	178	

問 13 . 参加した学年（参加した学生のみ／複数回答可）

問 13 はインターンシップに参加した人のみ回答（該当者 101 名）。

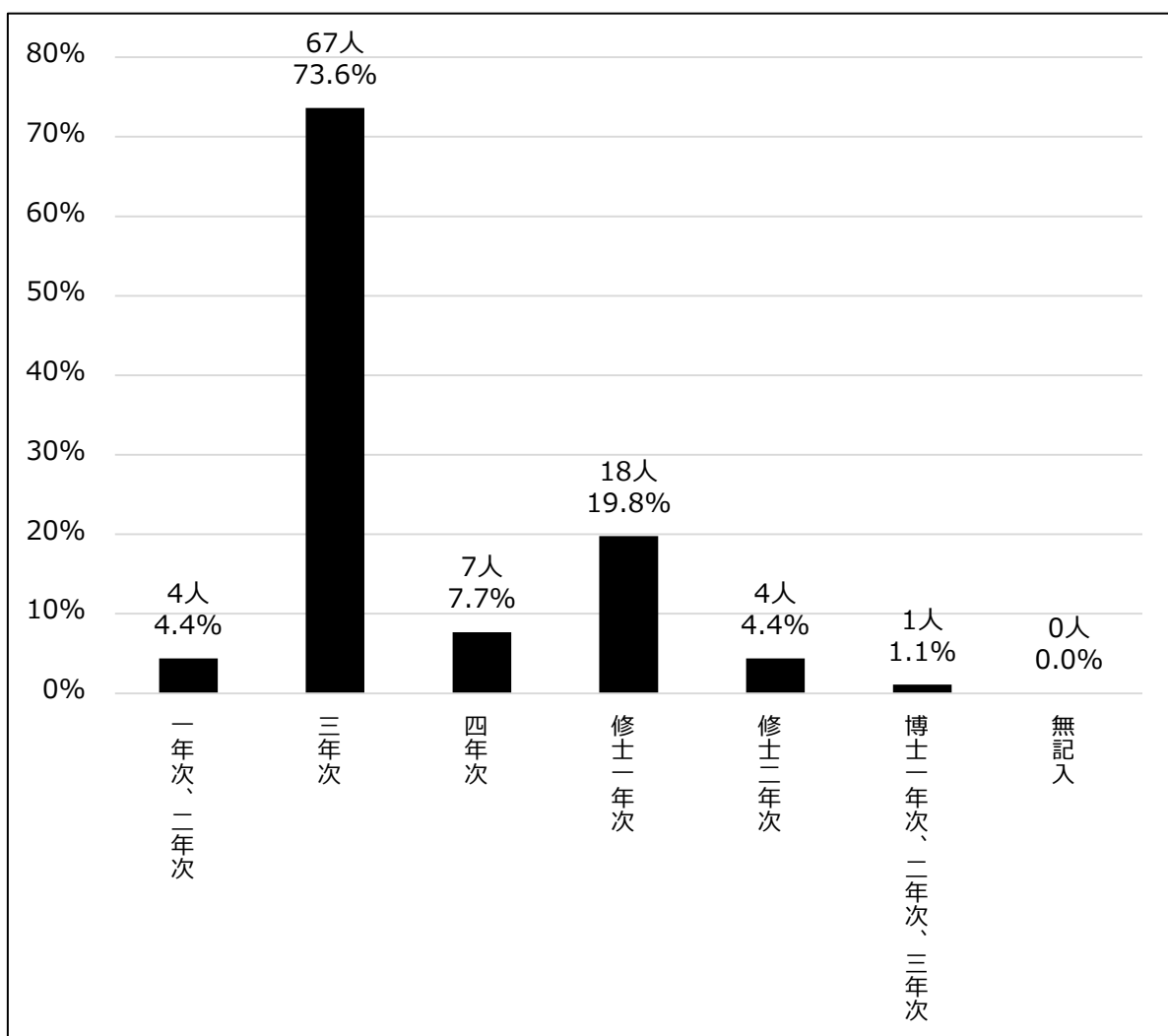


図 9 参加した時期について

就職活動について

問 14～17 は就職活動をした人のみ回答（該当者 148 名）。

問 14 . 就職活動にあたって、役に立った（重要だった）ものを順に 2 つ選んでください
（就職活動した学生のみ／2 項目選択）

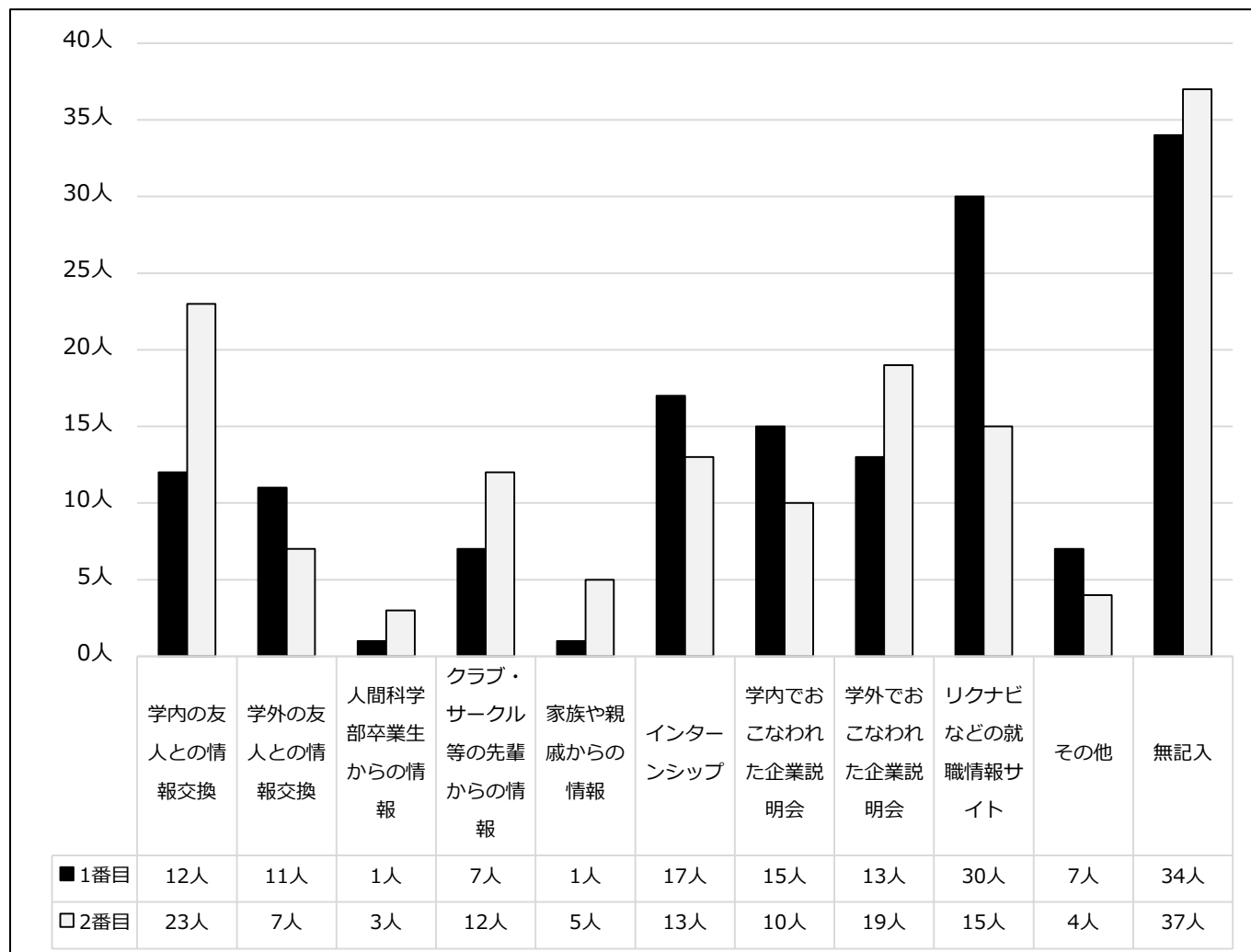


図 10 就職活動で役に立ったものについて

図 10 は就職活動における 9 の事項に関して、役に立った（重要だった）順に 2 つ選択してもらいグラフ化したものである。事項ごとに、黒の縦棒は 1 番目に選択、白の縦棒は 2 番目に選択した人数を示し、数を表記している。

【具体的に役立つもの】

- 官公庁主催のワークショップ型説明会
- 就職支援室、ハローワーク
- 学内の公務員対策講座
- 公務員講座
- 学生支援室での相談
- ネットでの企業情報
- Goodfind
- 友人とのはげましあい
- 学生支援室からの支援

問 15 . 就職活動が一番忙しかった時期（就職活動した学生のみ）

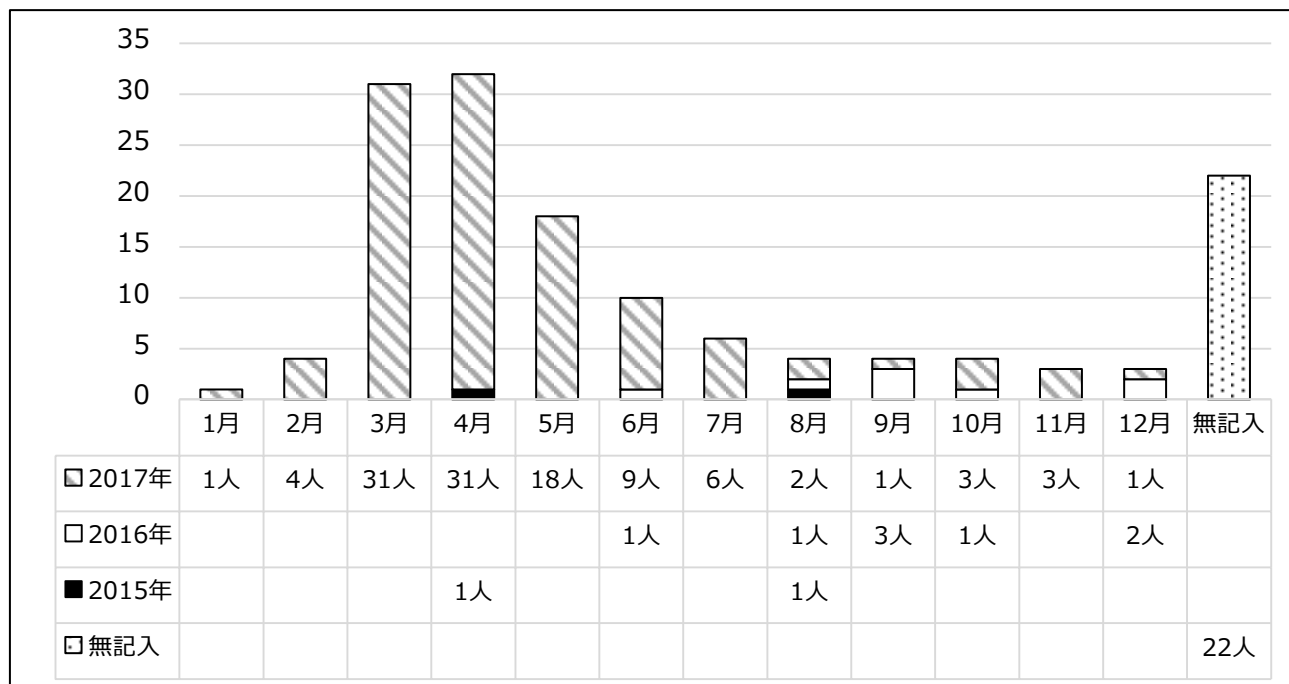


図 11 就職活動で忙しかった時期について

問 16 . 就職活動と学業の両立に困難を感じたか（就職活動した学生のみ）

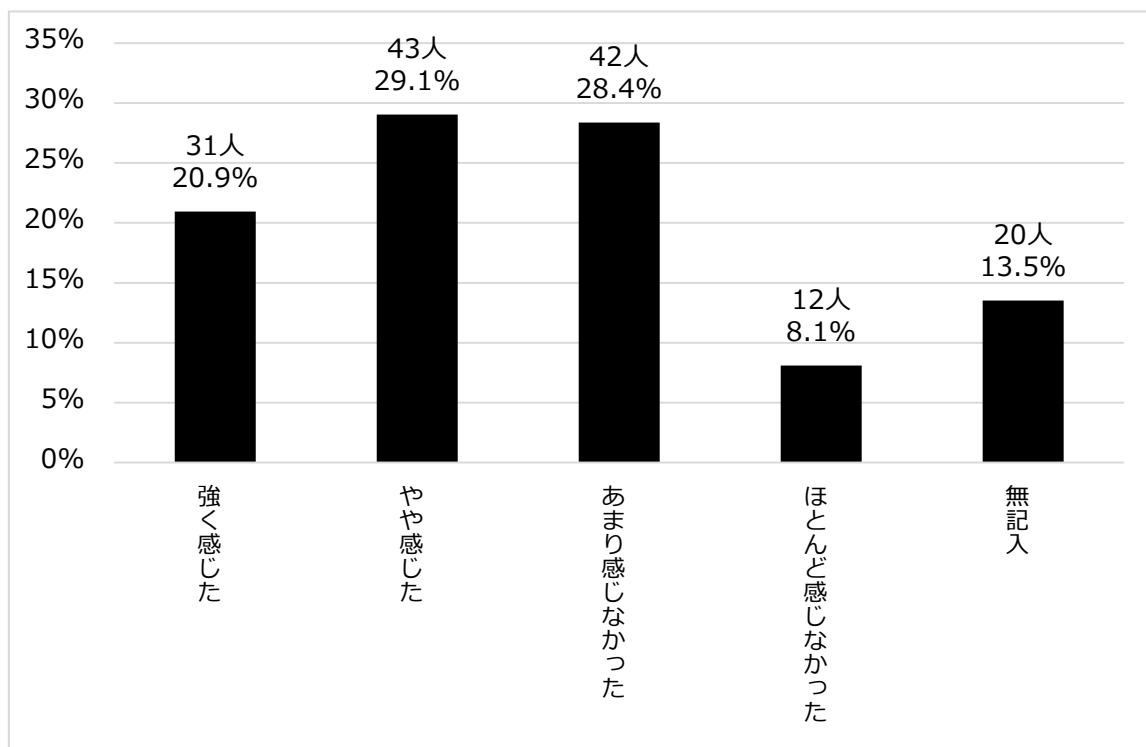


図 12 就職活動と学業両立の困難について

就職活動・進路指導・学生支援に対する要望について

問 17・18 は自由記述欄に記入された内容を記す。

問 17 . 就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学部・本研究科に希望する支援について

回答者 55 名

説明会・支援等についての要望

- 資格に対する情報（福祉系の資格等対応していないものが多い…）
- 各官公庁がワークショップを開催しているのですが、ほとんどが他大学で行われているため、阪大でももっとあればいいなと思いました。
- 就活イベントへ参加時の欠席扱いを考慮するシステム
- 首都圏における就職活動の経済的支援
- 気軽に参加できる人科棟での説明会を増やす。
- 説明会をまとめてひらく事
- 首都圏就職の情報
- 教員に対してもう少し就職活動等進路に関わることについて教育した方が良いのではないだろうか。（知識にジェネレーションギャップがある）
- 授業を就活で欠席した場合の対応を明確にして欲しかった。
- 公務員心理職を目指す人に向けたサポート
- 面接練習、E X 添削の支援
- 学生支援室が既にそろっていて手厚いサポートがある。周知と学生利用の促進が重要では
- 交通費面でのサポート（がうけられる制度の紹介）等
- 海外大学院進学についての情報がもう少しあるとよい
- 模擬面接セミナー
- 4年になったらあれほど就活が忙しいと思っていなくて授業を入れていたが、ほとんど出られなかった。3年までに単位をほぼ取り終えるべきだという情報がほしかった。また、遠方での就活をずっとしていたので金銭的な負担が大きかった。それに対する支援があると助かった。
- 支援は充分なのでどう利用したら良いのかとか利用できるよっていう周知がよりされたら良いと思います（授業ガイダンスの余った時間とかで？）（紙の掲示はありますが）
- インターンシップの紹介・面接練習会
- 人科系公務員の専門試験対策（特に社会学・教育学）があればよいと感じました。
- 留学生に対する特別支援
- 出席のかわりとなるような課題システム
- 毎週リクナビ（マイナビ？）の方が来て相談に乗って頂いて、非常に助かりました。

OB・OGについての要望

- 首都圏や大阪市内で、学生が時間をつぶすことができるような施設がほしい
- 積極的にOB訪問がしやすい制度（マッチング等）を、WEBサービスで提供して欲しい
- 社会人との交流
- OB訪問機会
- 首都圏や地方の官庁の説明会やOB訪問
- 社会人の先輩とのつながりを促してもらったらいいです。
- 卒業、修了した先輩からのアドバイス

問 18 . 就職活動以外の面で、本学部・本研究科に希望する支援について

回答者 41 名

- 留学プログラムの簡易化
- 留学制度をオープンに知らせてほしい
- 普段の生活で、自分の好きなこと、やりたいことを考えたりできるような活動やイベント
- インターンシップと現地調査などの実践に関する学生支援があればよいと思います。
- 卒業論文の書き方、アドバイスをもらえる場
- もっと研究と実社会をつなぐイベントやプロジェクト
- 卒業者でユニークな道を選んでおられる方は多いと思います。そういう“ひと”と関わることのできる機会
- 留学生就職指導（すこし足らなかったと思う）
- 本研究科は他の研究科に比べ支援は充実しているが、あまり周知されていないのが少し気になる。
- 教職課程
- 海外留学
- 海外でのインターシップの情報
- 学科選択時のサポートをもう少し厚くできるように思う
- 現状で満足
- サマースクールなど短期の留学プログラム。渡航費だけでも負担していただけると行きやすい。
- 食べもの自販機
- 実験協力網？卒論のためにデータをとると思うのですが、学部内だけでも協力者を網羅できて一括で管理できるものがあれば卒論の（修論も）大変さが減るのではないかと。難しいとは思いますが。
- 卒業単位が足りているかどうかの連絡
- 学系間の交流を増やしてほしい
- 大学院進学に関する情報ももう少し豊富であればうれしいです（ゼミに院生さんがおらず、イメージがわかかなかったので）
- 研究室、研究分野間の研究交流
- 自己分析やキャリアプランを1年のときから一緒に考える支援
- 資格支援。ITパスポートなど実務的なもの
- 語学、統計学を学ぶことができるものを編入や大学院に設置してほしい。
- 卒業単位が足りているかどうか確かめる制度。

本学部または本研究科に対する総合的な意見について

問 19 . 総合的に判断して、本学部・本研究科は満足できるものでしたか

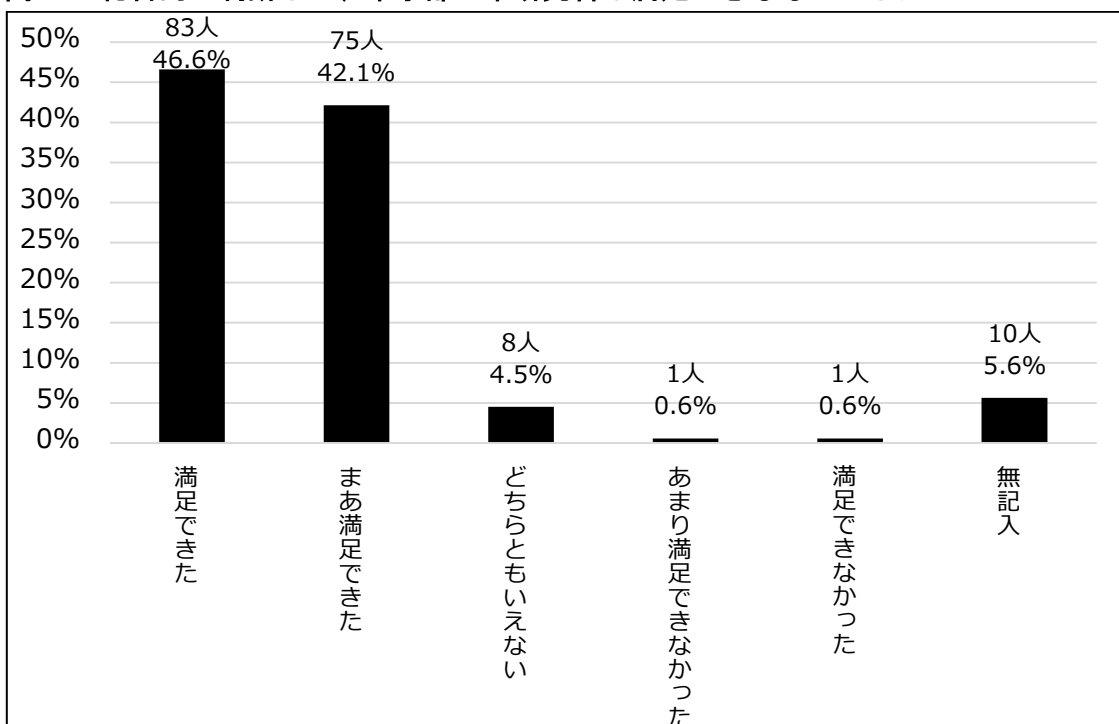


図 13 総合的な満足度について

問 20 . 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は満足できるものでしたか

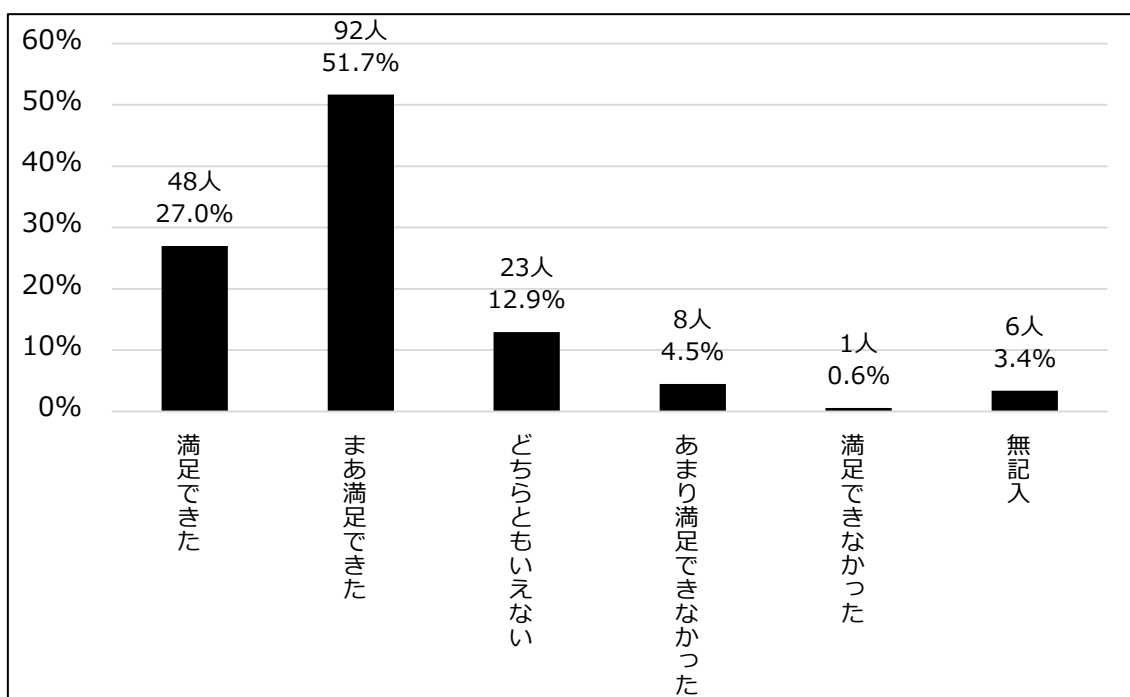


図 14 施設・設備の満足度について

問 21. 本学部・本研究科キャンパスサポート面は満足できるものでしたか

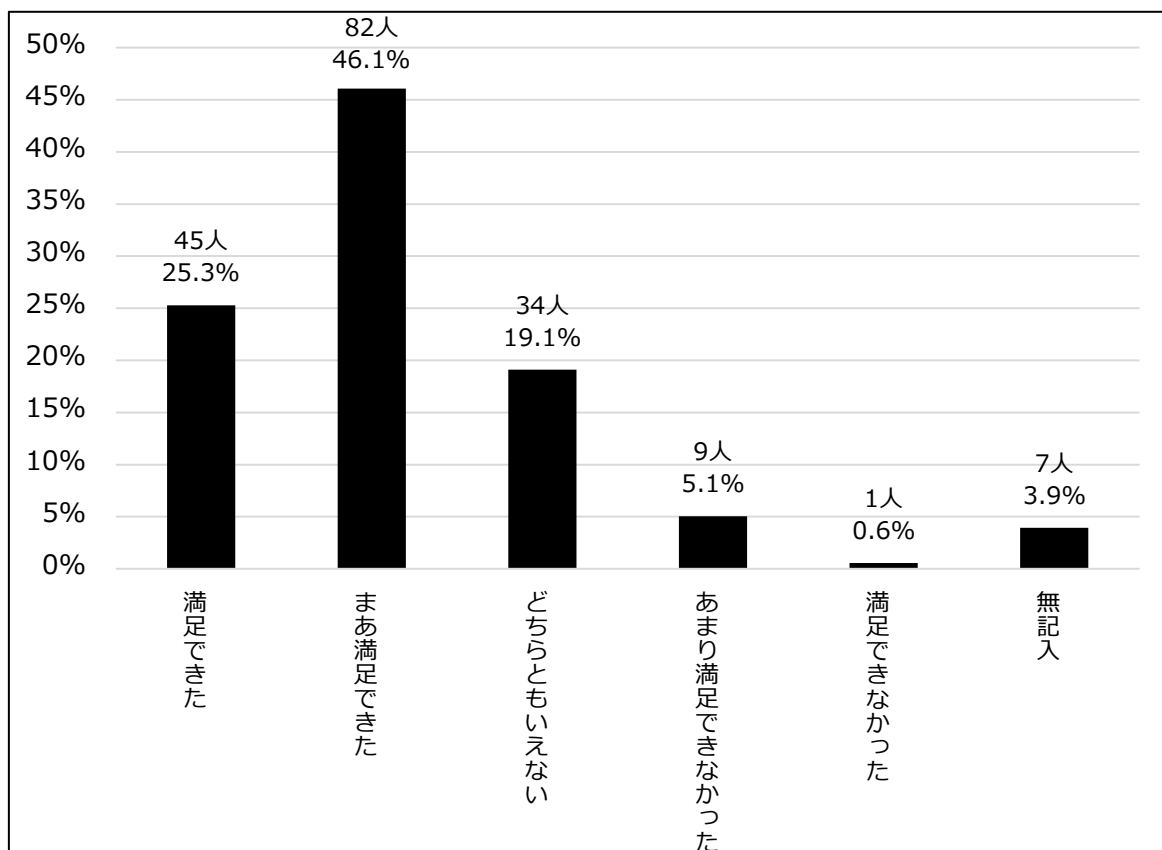


図 15 サポート面の満足度について

問 22・23 は自由記述欄に記入された内容を記す。

問 22 . 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・サポート面で改善して欲しいこと

回答者 52 名

施設・設備についての要望

- ジムが欲しい
- M e p l u s を P C ルームで使用できるようにしてほしい
- 無料のプリンターが欲しいです。
- 取得単位の計算を自動で行うシステム
- 図書館を長く開けておいてほしい
- 証明書発行の機械を人科棟内にほしかった
- 図書室に飲水機
- 再履バス。6 限後も用意してもらいたい。ガイダンス、口頭試問の日も出してもらいたい
- 人間科学研究科がよく使用される書考資料の一部は図書室に用意されているのですが、総合図書館にも多数ありま
- すので、総合図書館との連携を強化することが期待されています。
- k o a n 上で取得すべき残単位を簡単にわかるようにしてほしい。
- 東館、北館の校舎が古い
- 学内バスの運行休止期間を短くしてほしいです。
- 印刷機を戻してほしい
- 飲食系の取り扱いを拡大してほしい
- 人科図書館にて、カバンを毎回ロッカーに預け入れる必要がわずらわしい。
- プリントアウトできる場所を 2 回生用に再度作ってほしい。
- w i f i が弱い教室がある

- 東館2階の自転車をこぐのが好きなんです。あの場所は人目が気になる人がいると思うので、どこかの部屋で専用スペース（人から見えづらい）を作っても良いかもしれない。
- PCの動きが遅くあまり使えない。コピー機が足りない。計算器室のPCの使い勝手が悪い。ソフトの機動が遅く、ネットにつながらないものもある。
- 北千里との連絡バス・24hの図書館・食堂
- おいしい食堂を作ってほしい。グローバルな食堂を作ってほしい。
- 研究室として使える部屋数をもっと多ければ、さらによかったと思います。
- コンモズをもっとあればいいと思います。
- 研究室の鍵が事務室のあいている時間しか借りられないのは不便
- 東館のトイレをきれいにしてほしい。

サポート面についての要望

- KOANの仕様昔の方が分かりやすかったです。
- 普段の生活で、自分の好きなこと、やりたいことを考えたりできるような活動やイベント
- 学生サポートを知らない。利用する環境、雰囲気ではなかった
- イベントのお知らせを構内放送で流さないでほしい
- 教務や学系など、事務に関する縦割りな対応は改善した方がいいと思います。
- 北館の教育推進室について。入ってすぐにホワイトボードが横向きに置いてあり、中にいらっしゃる方と対面で話すことができなかった。少なくとも顔を見て話せる環境にしていただけたらと思います。
- 進路相談員さんの人員が少ない
- 図書室の本の期間をもっと長くしてほしい
- 履修単位計算補助
- 留学システムをもう少し分かりやすくしてほしい
- 単位数の相談をもっとのってほしかった

問23 . 本学部・本研究科に対する意見・感想について

回答者 26名

- 時代の流れなどあるとは思いますが、学部入試の後期試験を復活させてほしいです。
- 楽しい学生生活でした。ありがとうございました！
- 本当に自由な生き方ができるような学生を育てて行って欲しいと思います。4（5）年間お世話になりました
- 人科最高！
- 4年間ありがとうございました。
- 英語コース（G30）の授業をもっと学部生に組み込むべき
- この学部で4年間を過ごせてよかったです。ありがとうございました！！
- トイレがきれい
- 学部から7年間、お世話になりましたありがとうございました！



平成 30 年 3 月
大阪大学大学院人間科学研究科
大阪大学人間科学部
評価委員会・学生支援室

2017 年度

大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び 人間科学部卒業生の学生生活に関する調査

このアンケートは人間科学研究科・人間科学部を修了/卒業しようとする皆さんを対象に行うものです。皆さんが過ごされた院生生活/学生生活を振り返り、日頃感じていたことを率直にお聞かせください。皆さんのご意見は今後の教育課程・教育内容・就職支援等の改善に役立てます。

あわただしい中で恐れ入りますが、よろしく御協力ください。アンケートは無記名で行います。回答は統計的に処理され、回答者を特定する事はございません。なお、調査結果は集計後、人間科学研究科/人間科学部 ホームページに掲載致しますのでご覧ください。

回答は選択肢の中から当てはまる番号に○印をつけてください。原則として○はひとつですが、質問によってはいくつでも○をつけられるものもあります。選択肢ではなく、空欄に記入していただく質問もあります。

回答したアンケートは、色別に分けて出口で提出してください。



最初にあなた自身についてお教えてください。

問 1

1. 女性
2. 男性

問 2

1. 人間科学部 卒業
2. 大学院人間科学研究科博士前期課程 修了
3. 大学院人間科学研究科博士後期課程 修了

問 3

1. 行動学系 所属
2. 社会学・人間学系 所属
3. 教育学系 所属
4. 共生学系 所属
5. その他 所属

問 4

1. 民間企業 就職内定
2. 官公庁 就職内定
3. 大学院 進学決定
4. 未定
5. その他（具体的に： _____）

つぎに、あなたの学生生活または院生生活についてお教えてください。

→学部卒業の方は次の問 5 へお進みください。
大学院修了の方は問 7 へお進みください。

問 5（学部卒業生のみご回答ください）

あなたは学科目を決める時、十分な情報を与えられたと思いますか。

1. 十分与えられた
2. まあ与えられた
3. あまり与えられなかった
4. 全然与えられなかった

問 6（学部卒業生のみご回答ください）

学科目を選択した理由は、つぎのどれでしたか（〇はいくつでも）。

1. 入学前から学びたい内容が決まっていたから
2. 入学後に授業で学びたい内容が見つかったから
3. 学科目選択のためのガイダンスで興味をもったから
4. 魅力のある先生がいたから
5. 就職を考えて
6. 楽しそうだから
7. その他（具体的に： _____）

問 7 学生生活または院生生活の中で、あなたはつぎの活動について、それぞれどの程度力を注いでいましたか。

	非常に力を注いだ	まあ力を注いだ	どちらともいえない	注がなかった	あまり力を注がなかった	力を注がなかった	該当しない
a. 授業	1	2	3	4	5	6	
b. 卒論・修論・博論	1	2	3	4	5	6	
c. 課題や試験勉強	1	2	3	4	5	6	
d. 就職活動	1	2	3	4	5	6	
e. 資格試験準備	1	2	3	4	5	6	
f. クラブ・サークル活動	1	2	3	4	5	6	
g. アルバイト	1	2	3	4	5	6	
h. レジャー	1	2	3	4	5	6	
i. ボランティアなど	1	2	3	4	5	6	
j. 大学または学部の自治会	1	2	3	4	5	6	

→学部卒業の方は次の問 8 へお進みください。

学部編入された方と大学院修了の方は問 9 へお進みください。

問 8（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）

「専門基礎教育科目」（統計学A-I、統計学A-II、数学A、数学B）はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問9 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについてどう思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問10 本学部または本研究科で身に付いたことは何ですか（〇はいくつでも）。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他
(具体的に：)

問11 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うことはどれですか（〇はいくつでも）。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他
(具体的に：)

つぎにインターンシップについてうかがいます。

問12 在学中、インターンシップに参加しましたか（自主開拓も含めてお答えください）。

1. 参加した
2. 参加しなかった

→参加した方は問13へお進みください。
それ以外の方は問14へお進みください。

問13（参加した方のみご回答ください）
いつ参加しましたか（〇はいくつでも）。

1. 一年次、二年次
2. 三年次
3. 四年次
4. 修士一年次
5. 修士二年次
6. 博士一年次、二年次、三年次

つぎに就職活動についてうかがいます。

→在学中に、就職活動をされた方は次の問14へお進みください。
それ以外の方は問18へお進みください。

問14 就職活動にあたって、役に立った（重要だった）ものを次の中から順に2つ選んで、番号を記入してください。

1 番目 () 2 番目 ()

1. 学内の友人との情報交換
2. 学外の友人との情報交換
3. 人間科学部卒業生からの情報
4. クラブ・サークル等の先輩からの情報
5. 家族や親戚からの情報
6. インターンシップ
7. 学内でおこなわれた企業説明会
8. 学外でおこなわれた企業説明会
9. リクナビなどの就職情報サイト
10. その他（具体的に：)

問15 就職活動が一番忙しかった時期はいつですか。

西暦

2	0		
---	---	--	--

 年

--	--

 月頃

問 16 就職活動と学業の両立に困難を感じましたか。

1. 強く感じた
2. やや感じた
3. あまり感じなかった
4. ほとんど感じなかった

就職活動・進路指導・学生支援に対する要望
についてうかがいます。

問 17 就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学
部・本研究科にどのような支援があればよいと
思いますか(特に、首都圏・地方での就職活動、
公務員試験の準備に関する意見をお持ちの
方)。

問 18 就職活動以外の面で、本学部・本研究科に
どのような学生支援があればよいと思いま
すか？

本学部または本研究科に対する総合的な意見
についてうかがいます。

問 19 総合的に判断して、本学部または本研究科は
満足できるものでしたか。

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 20 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は
満足できるものでしたか。

例) 講義室・図書室・サイバーメディア室等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 21 本学部・本研究科の学生サポートは満足できる
ものでしたか。

例) 事務・学生支援・就職支援等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 22 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・
学生サポートで、改善して欲しいことがあれば
具体的に記入してください。

問 23 人間科学部・人間科学研究科に対するご意見・
ご感想ございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートのご協力ありがとうございました

